

全般 1か月予報

(9月29日から10月28日までの天候見通し)

平成24年9月28日
気象庁 地球環境・海洋部発表

<特に注意を要する事項>

北・東日本では、期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

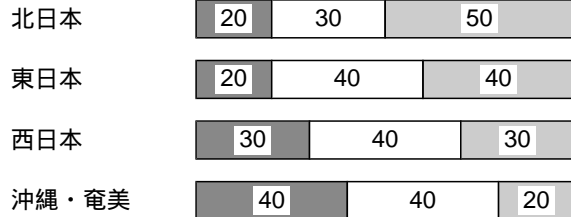
全国的に、天気は数日の周期で変わるでしょう。北日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、北日本で高い確率50%、東日本で平年並または高い確率ともに40%、沖縄・奄美で平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、北日本と東・西日本日本海側で平年並または多い確率ともに40%、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多い確率50%です。

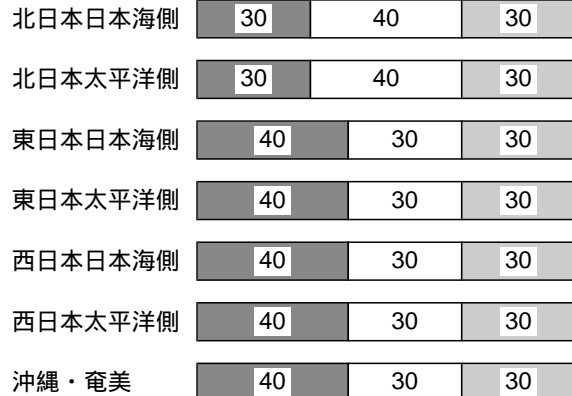
週別の気温は、1週目は、北日本で高い確率80%、東日本で高い確率60%、西日本で平年並の確率50%、沖縄・奄美で低い確率60%です。2週目は、北日本で平年並または高い確率ともに40%、沖縄・奄美で平年並または低い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

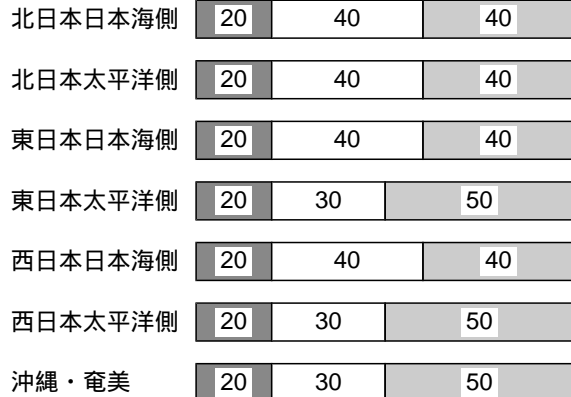
[気温]



[日照時間]



[降水量]

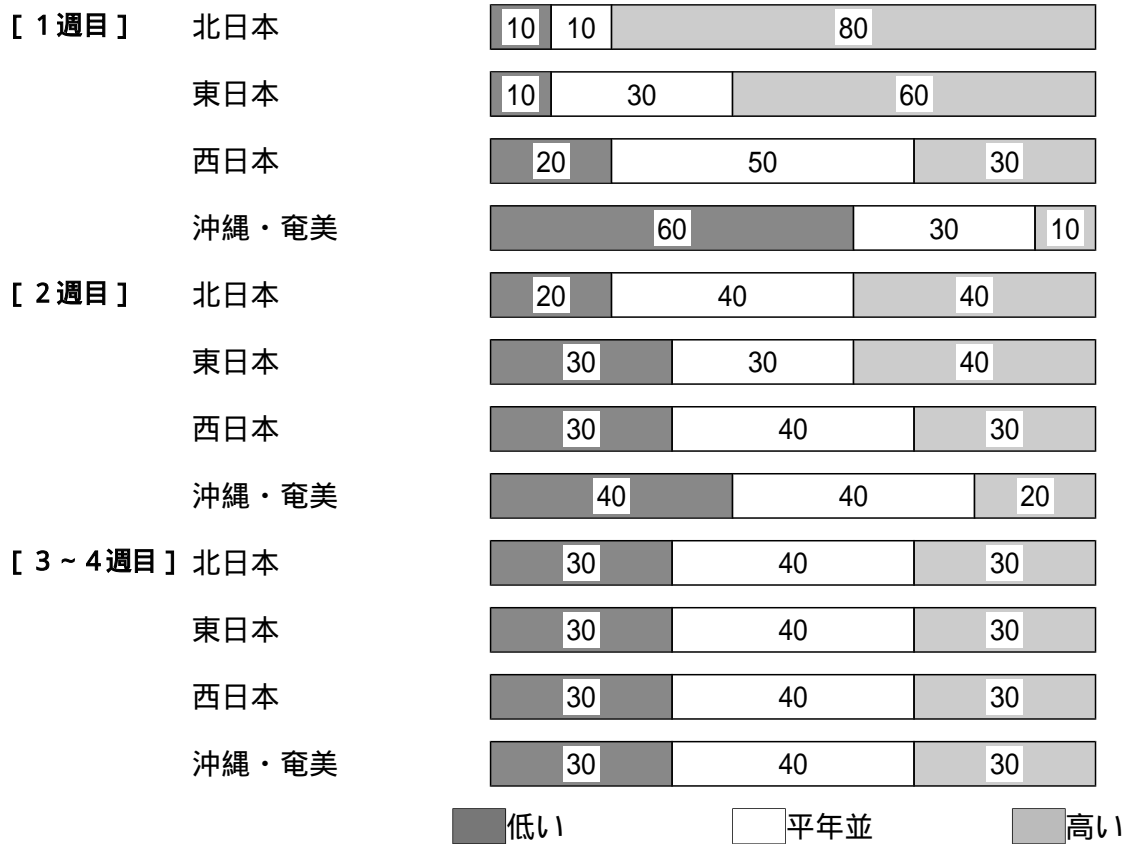


■低い(少ない)

□平年並

■高い(多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 9月29日(土) ~ 10月28日(日)
 1 週目 : 9月29日(土) ~ 10月5日(金)
 2 週目 : 10月6日(土) ~ 10月12日(金)
 3 ~ 4 週目 : 10月13日(土) ~ 10月26日(金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は10月5日
 3 か月予報 : 10月25日(木) 14時

< 参考資料（平年並の範囲） >

（１）1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()		降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
北日本	-0.3～+0.4	日本海側	88～109	96～105
		太平洋側	77～110	97～105
東日本	-0.6～+0.5	日本海側	82～109	96～108
		太平洋側	72～109	94～106
西日本	-0.4～+0.5	日本海側	65～111	96～105
		太平洋側	65～99	96～106
沖縄・奄美	-0.4～+0.4		62～98	96～106

（２）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
北日本	-0.5～+0.6	-0.5～+0.7	-0.4～+0.5
東日本	-0.5～+0.5	-0.5～+0.6	-0.4～+0.5
西日本	-0.6～+0.4	-0.6～+0.6	-0.4～+0.5
沖縄・奄美	-0.2～+0.3	-0.3～+0.3	-0.4～+0.5

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数值は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。